

81.11.22

No. 100

国鉄千葉動力車労働組合

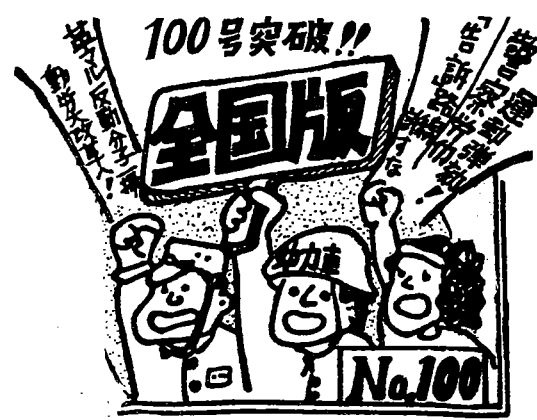
千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五(六・公衆) 電話(22)七二〇七

12.14「統一」準備会「発足を粉碎せよ！」

*** **

全国の動労組合員のみなさん。労働戦線「統一」をめぐる情勢は、十二月十四日の「民間統一準備会」発足をまえにして、重大な局面へと突入しています。いまや、総評は、帝国主義の手先同盟・J〇などの右からの組織破壊攻撃のまえに、解体分裂をゆるし、さらに屈服の道を歩むのか否かの、決定的局面にたたさされているといえます。こうした右からの攻撃を断固として粉碎し、八〇年代労働運動の戦闘的再生をもちとることをすべての労働者人民に問われている課題です。わが動労千葉の主催する『右翼労働「統一」粉碎、三里塚二期着工阻止、十二・三労働者集会』に総結集し、十二・十四「統一準備会」発足を粉碎へ共に突き進みましょう。

*** **



総評解体の先兵と化した「本部」革マル反動分子

右翼労働「統一」攻撃が激化するなかで、動労「本部」革マル反動分子は、総評労働運動強化を語りつつ、その実、総評解体の極悪先兵の役割をはたしているのが現状であります。

周知の通り、総評楨枝・富塚執行部は、「統一推進会」がうち出した軍事大國化と改憲への翼賛を公然と訴えている「基本構想」を大筋で理解するとして、帝国主義的右翼再編攻撃に屈服して、総評労働運動強化のために現実的対応として「五項目補強見解」堅持が重要であり、基本構想反対はいくべきではない」として、総評楨枝・富塚執行部の裏切りと屈服を擁護して行っています。

しかも十一月四日、「統一準備会参加方針」をきめようとした総評臨時大会に、自ら「防衛隊」を買ってでて権力・機動隊と肩を並べて、右翼労働「統一」粉碎の声を封殺せんとする側にまわったのであります。「本部」革マル反動分子は、こうして右翼労働「統一」の流れにしがみつき、その先兵となって延命をはかり、闘う労働者への暴力的敵対をくりかえしているのです。いまや「本部」革マル反動分子は、「富塚の子飼」とまで右翼労働「統一」反対派のなかで怒りをもって語られている由縁はここにあるのです。

このように「基本構想」反対に反対し、総評解体の先兵となった「本部」革マル反動分子は、一掃・追放あるのみです。

全国の動労組合員のみなさん。

十二・三労働者集会に結集し、動労千葉と共に

十二・十四「統一準備会」発足を粉碎し、三里塚二期着工阻止闘争に決起しよう。この闘いの高揚のなかに軍事大國化・改憲攻撃・右翼労働「統一」粉碎・三五万人体制攻撃粉碎の勝利の道があるのです。

十二・三労働者集会に賛同する檄文

高島 喜久男 (労働運動評論家)

動労千葉が主催して労働統一反対の集会をひらくというのであるが、私は、双手をあげてこれを支持したい。労働統一の動きの最終の目標は、第二臨調の動きと歩調を合わせて公労協の各組合を破壊することにある。公労協の各組合を「経済整合性」の枠内におとしめることは、日本資本主義の今日の危機打開のための不可欠の道である。公労協の各組合の中に動労千葉の呼びかけに呼応する声が高揚することこそ労働統一の路線と対決する最良の道である。

右翼労働戦線「統一」粉碎
三里塚二期着工阻止

12・3 労働者集会

■主催 国鉄千葉動力車労働組合
■とき 12月3日(木) 17:30~
■基調 中野 洋 動労千葉書記長
■ところ 東京・牛込公会堂
国電飯田橋・地下鉄神楽坂下車